

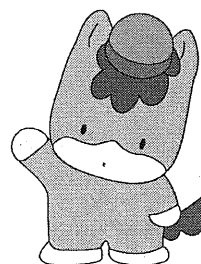
# NPO活動推進自治体フォーラム 島根大会

第4分科会  
よりよい協働事業提案制度を考える

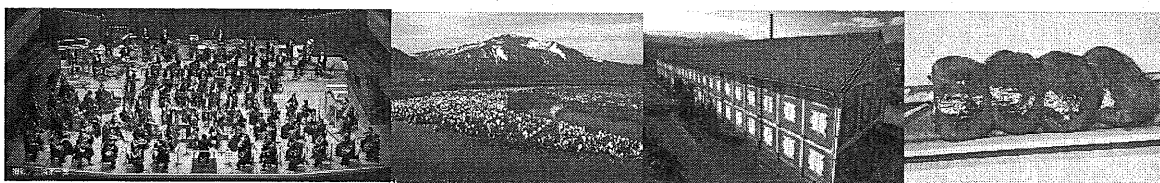
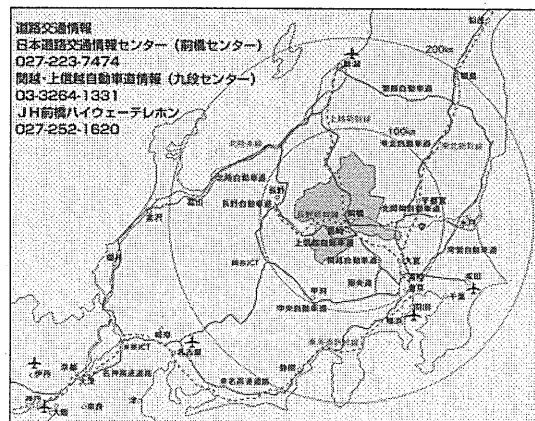
2010,11,19

群馬県生活文化部NPO・ボランティア推進課

## 群馬県って？



人口 200万人  
（岡山県とほぼ同じ）  
面積 6,363平方キロメートル  
（島根県とほぼ同じ）  
NPO法人数 676法人(2010.10末)  
（人口比で全国9位）



# NPO協働提案パイロット事業について

## 事業の目的

協働の実践を通して

- 県施策に協働の考え方・手順を浸透させる
- テーマに応じた具体的な課題を解決する

協働の実践と蓄積により  
新たな「公」の創造につなげる

## 事業の概要

パイロット事業は、県民ニーズを踏まえたテーマを設定して、NPOからの企画提案を募集し、NPOと県が相互に関わりを維持しながら課題解決に当たっていくものであり、「協働」をモデル的に実践するもの

## 事業の流れ(H21年度)

ニーズを捉える 1~3月

テーマ募集 → テーマ審査等 → テーマの設定(2テーマ)

共に知恵を出す 3~8月

提案募集 → 実施事業決定 → 事業詳細協議 → 契約締結

共に汗をかく 8~2月

事業実施(NPOと県が関わりを維持)

共にふりかえる 3~6月

相互にふりかえり

## 予算

### ○単年度型

- ・テーマ募集時期を早める必要あるが、予算案議決との兼ね合いの問題。

### ○選考前に予算要求

- ・NPO課が予算を確保した上で実施。事業担当課に予算配当替。

### ○上限額あり

事業を組む際の目安となる ←→ 制約にもなる

# テーマ設定者

## ○自由テーマ型

市民、NPOから募集（H22 11本）

## ○指定テーマ型（課題提示型）

庁内から募集（H22 2本）

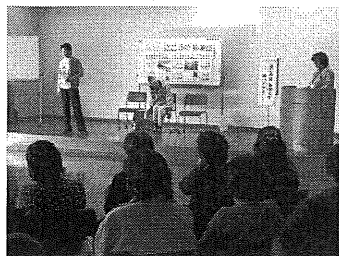
→審査委員会により2本選定

NPO提案テーマを採用する場合、庁内調整も

# 協議

## ○事業開始に向けた協議を義務づけ

- 募集要項 p. 4
- 応募のあった企画提案の中から審査委員会で選定された提案者と事業担当課との協議  
→ 仕様書、契約書の作成

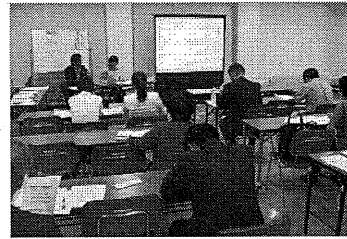


# 選考

## ○書類＋プレゼン

1次審査：書類のみ

2次審査：公開プレゼン



## ○公募委員＋行政指名委員

学識経験者、NPO関係者(2)、社協、県職員

## ○選考委員、選考項目を公開

県HPで氏名を公開。審査基準は要項p. 4

# 評価

## ○プロセス評価＋成果評価

## ○自己評価・相互評価

平成21年度NPO協働提案パイロット事業ふりかえりシート				
協働の主体であるNPOと行政とがそれぞれ立場でふりかえってきましょう				協働提案先 協働相手 協働担当者
協働のねらい(目的・目標)と内容を整理してみましょう				
協働のねらい(目的・目標)と内容を整理してみましょう	協働のねらい(目的・目標)と内容を整理してみましょう	協働のねらい(目的・目標)と内容を整理してみましょう	協働のねらい(目的・目標)と内容を整理してみましょう	協働のねらい(目的・目標)と内容を整理してみましょう
協働プロセスを協働の原則に沿ってふりかえってきましょう				
協働プロセスを協働の原則に沿ってふりかえってきましょう	協働プロセスを協働の原則に沿ってふりかえってきましょう	協働プロセスを協働の原則に沿ってふりかえってきましょう	協働プロセスを協働の原則に沿ってふりかえってきましょう	協働プロセスを協働の原則に沿ってふりかえってきましょう
評価プロセスを協働の原則に沿ってふりかえってきましょう				
評価プロセスを協働の原則に沿ってふりかえってきましょう	評価プロセスを協働の原則に沿ってふりかえってきましょう	評価プロセスを協働の原則に沿ってふりかえってきましょう	評価プロセスを協働の原則に沿ってふりかえってきましょう	評価プロセスを協働の原則に沿ってふりかえってきましょう

